

## 雇用を導入した葉ネギの周年栽培に取り組む

～農業は人と人とのつながりが大切～

新城市 村田典弥（むらたのりや）さん  
葉ネギ

【平成22年5月13日掲載】

新城市で平成17年8月にUターン就農され、葉ネギの周年栽培に取り組む村田典弥さん（写真1）を紹介します。

### 1 農業を始めたきっかけ

村田さんは地方公務員を退職し、地元、新城市で農業を始められました。就農したきっかけは、農業関係部署の勤務時代、農業者の減少、高齢化を目の当たりにして、農業はビジネスチャンスであると感じたからでした。

村田さんの父はサラリーマンでしたが、祖父が牛を飼っていたため、旧畜舎や農地がありました。

現在、村田さんは、葉ネギの周年栽培1ha（写真2）を主力に、サトイモも70a作付けています。葉ネギを選んだ最大の理由は、出荷調整（写真3）が大変でみんなやりたがらないため、そこに儲かる隙間があると逆転の発想からで、それ以外にも需要が安定していることや、軽くて、作業しやすいという点も挙げられていました。

### 2 経営の特徴

村田さんに、農業を行う上で工夫された点をお聞きしたところ、①土地の確保、②人材確保でした。

土地の確保については、自己所有地だけでは足りないため、近所の人に当たったり、地元生産組合の総会などでお願いしたそうです。その時、就農前の職務経



写真1 村田典弥さん（左から2番目）  
母（左）、従業員の皆さん（右側）



写真2 ネギのほ場



写真3 出荷調整作業

験を活かし、地元の人たちに対して、見た目にはわかりやすく、生産計画や目標を記述した資料を作成し、配布しました。これによって徐々に農地の確保ができるようになったそうです。

人材確保については、葉ネギの周年栽培は年間を通して労働力が必要になるため、地元で従業員を募集しました。現在の労力は、村田さん始め、母、従業員2名の計4名です。村田さんは、「従業員には農業に対してプライドを持ってもらいたい、また長く従事できるような仕組みづくりが大切である。」と語られました。

### 3 将来の夢

将来の夢をお聞きしたところ、「第1に市場に左右されない販売ルートの確保、第2に自分で価格を付けること、第3に規模拡大（ネギは1haから3haへ、サトイモは0.7haから3haへ）、第4に自分の直売所を作ること、第5に人との人とのつながりを大切にして、専業農家が力を合わせて連携強化を図ること。」と語っていただきました。

執 筆：農業経営課

取材協力：新城設楽農林水産事務所農業改良普及課